

広報啓発

市民の意識啓発のため、「広報ふくつ」および「広報ふくつお知らせ版」の男女共同参画の情報コーナー「めざそう！男女がともに歩むまち」などに、男女共同参画に関する情報や活動報告を掲載しました。

①相談事業の案内

女性のための無料法律相談（全4回）

**女性のための
無料法律相談を開催**

市内在住の女性を対象に、夫婦・恋人間の問題、離婚、ドメスティック・バイオレンス（DV）やセクシュアル・ハラスメント、雇用問題など、女性の人権に関する法律問題について、無料相談を行います。

日 5月13日（月）午後1時～午後4時45分 ※相談は1人45分

場 市役所

定 先着4人 ※要予約

相談員 岩城和代弁護士

期 4月30日（火）午前9時から

託 生後5カ月以上の未就学児、1人300円、7日前までに要予約

問 市男女共同参画推進室 ☎43・8116、M danjo@city.fukutsu.lg.jp

▲4月号インフォメーション

労働相談（全4回）

労働相談会を開催

男女問わず、賃金の未払い、不当な解雇、職場でのいじめ、セクハラ、パワハラなど、労働問題について無料相談を行います。労働者だけでなく、事業主も相談できます。

日 6月4日（火）午前10時～午前11時45分 ※1人45分

場 市役所

定 先着2人 ※要予約

期 5月21日（火）の午前9時から

託 生後5カ月以上の未就学児、1人300円、7日前までに要予約

問 市男女共同参画推進室 ☎43・8116、M danjo@city.fukutsu.lg.jp

▲5月号 インフォメーション

②イベント・セミナー等の告知

**6月23日から6月29日は
男女共同参画週間です**

「男女共同参画社会基本法」が平成11年6月23日に公布・施行されたことを踏まえ、毎年6月23日から6月29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。

期間中はさまざまな取り組みを通じ、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について、皆さんの理解を深めることを目指しています。

女性と男性が職場や学校、地域、家庭などでそれぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するためには、国や地方公共団体だけでなく、一人一人の取り組みが必要です。

この機会に男女のパートナーシップについて考えてみましょう。

☎ 市男女共同参画推進室
43・8116

▲6月号 インフォメーション

「福津市男女共同参画都市宣言」記念講演会を開催

「今の世の中、男女平等じゃないの？」無自覚なジェンダー・バイアスに気づくために」をテーマに講演会を開催します。講師は、西日本短期大学保育学科長・教授の富永明子さんです。託児など、詳しくはお問い合わせください。

日 9月28日(土) 午前10時～正午

場 市役所

定 40人

受 電話、メール、市公式ホームページ

またはファクス



☎ 市男女共同参画推進室 43・8116、☎ 43・3168、
✉ danjo@city.fukutsu.lg.jp

▲9月号 インフォメーション

「女性のための災害対策ハンドブック」作成メンバーを募集

女性を対象に、日頃の心構えや災害時の行動、女性ならではの防災グッズなど市民の皆さんの意見を取り入れ、一緒に災害対策ハンドブックを作成するワーキング会議です。

日 第1回 10月23日(水)、第2回 11月5日(火)、第3回 11月19日(火)、第4回 12月3日(火) ※時間は全て午前10時～正午

場 市役所

対 原則、全4回参加できる人。ただし、各回のみ参加でも可 ※男性も参加可

定 20人 ※要予約

内 第1回「オリエンテーション」講座内容の説明、自己紹介など、第2回「グループワーク」みんなで意見を出し合おう、第3回「グループワーク」情報の優先順位を考えよう、第4回「まとめ」私たちの災害対策ハンドブック

演 宮木裕子さん(危機管理士2級)

受 電話、メール、市公式ホームページ

託 生後5カ月以上の未就学児、子ども1人につき300円、要予約

☎ 市男女共同参画推進室 43・8116、☎ 43・3168、
✉ danjo@city.fukutsu.lg.jp

▲10月号 インフォメーション

ポジティブアクション 講座を開催

「ポジティブ・アクション」とは男女の不平等をなくすため、特に女性を応援する具体的な取り組みです。

女性が自分らしい活躍の場を見つけるための講座を開催します。主に女性を対象としていますが、男性も参加できます。自分らしく、楽しい未来のことを一緒に考えてみましょう。

講師は市未来共創センターキックセラボディレクターで、ボランティア活動コーディネーターの中村善輝さんです。テーマは「自分らしい未来を描くポジティブ・アクション講座」です。

日 2月20日(木) 午後2時
午後4時

場 市役所

定 先着20人 ※要予約

受 市公式ホームページの申し込みフォーム、ファクス



託 生後5カ月以上の未就学児、1人300円、要予約

問 市男女共同参画推進室

43・8116、F43・3

168、danjo@city.fuku

tsu.lg.jp

▲2月号 インフォメーション

③特集号 目指そう 男女が ともに歩む まちづくり

男女がともに歩む一行詩（12月号）

令和6年度

「男女がともに歩む」一行詩 優秀作品

市内の小・中・高校生に、男女が歩むまちづくりへの思いを一行詩で表現してもらいました。

【小学生の部】

別々の道ではなく共に歩く一本の道

好きに生きよう、自分と、ともに

人生は 自分の たからもの

わたしだって かっこよくなりたい！

男だろうが、女だろうが関係なくない？だって大切なのは「自分らしさ」だから。

男と女は関係ない やりたいことは自分したい

男だったら女だったら。「いいや」今のあなたが、すばらしい。

《勝浦小学校5年 阿部 明来さん》

《上西郷小学校5年 白川 波さん》

《神興小学校4年 桑野 唯菜さん》

《神興東小学校6年 魚住 唯菜さん》

《津屋崎小学校5年 青山 泰志さん》

《福岡小学校4年 三浦 煌平さん》

《福岡南小学校5年 川端 菜々恵さん》

【中学生の部】

男女のボーダー 取っ払い「あなた」の力が 未来に輝く

「有休をとります」は女性だけのセリフではありません

将来の夢 女子だからといって 諦めない 好きな職業で働く 未来の自分に

「あなた」はあなた 「じぶん」はたくさん

家事苦手？ 俺がするよ得意だし

性別を見る社会から 個性を見る社会へ

《福岡東中学校3年 向笠 文菜さん》

《福岡東中学校2年 河口 颯介さん》

手を取り合い 違う色で描く 未来地図

変わってる？ 自分の個性 唯一無二

咲かせてよ 1つの人生 個々の色

“手伝”ではなく 一緒にやろう家事育児

「男らしさ」「女らしさ」よりも自分らしさの方が一番大切

区別より 個性を出して 作る社会

《水産高校1年 小島 奏芽さん》

《水産高校1年 玉井 悠嗣さん》

《水産高校1年 岡崎 心南さん》

《光陵高校1年 立山 輝一さん》

《光陵高校1年 米満 桜さん》

《光陵高校1年 上田 真門さん》

男女共同参画都市宣言記念講演会

今の世の中、男女平等じゃないの？
～無自覚なジェンダー・バイアスに気づくために～

富永 明子さん

臨床心理士、公認心理師、フェミニストカウンセラーであり西日本短期大学保育学科長の富永明子さんを講師に招き、男女共同参画都市宣言記念講演会を9月28日に行いました。今回の参加者は32人。残念ながら男性の参加が少なく、多くが50代以上の女性でした。

講演テーマの「ジェンダー・バイアス」とは、男女の役割について、無意識に固定的な観念を持つこと、社会的・文化的に差別や偏見があることです。

私たちは「ふつうは〇〇」という言い方を日常的に使います。それが、無意識に周りの人を傷つけていることもあることに気付かされました。



参加者からは「これから勉強していこう」「生活の中で実践するきっかけになった」などの感想をいただき、参加者それぞれが気付きのヒントを得られた講演会になりました。

市は、このような講演活動などをとおして、誰にとっても生きやすいこれからの時代を創るために、今後も啓発を続けていきます。

▲ 12月号 特集号 ▼

推進モデル

いつかは福津市産ワインを！

本郷さんは、大分県の「久住ワインナリー」で約3年間、ワインについて修行し、令和3年から福津市本木でワイン用ブドウの栽培を行っています。

ワインが好きで、自分で一から作ってみたいと決意したことが就農のきっかけという本郷さん。生まれ育った福津市で、休耕地を借り土作りから始めました。

時には、猟友会のメンバーと害獣駆除時には、一人で重い物を運び、草刈り機などの機械のメンテナンスも行います。このような頑張りを周りの人たちが認めてくれた結果、どうしてもできない作業のときなどは「お互い様」の精神で知り合いが力を貸してくれました。

女性が一人で一から就農するのは簡単ではありません。それでも本郷さんは「農業はクヨクヨしない自分に合っている」と考えているそうです。農作業中のトイレなどの女性特有の悩みはありますが、ワインを醸造しジビエと福津市産の野菜でレストランを経営したい



本郷 由起さん



▲草刈りをする本郷さん

という夢の実現のため、今後も努力を続けていくそうです。

このように、性別に関係なく自由に生き方を選択し能力を発揮していこうとする姿は、市の「男女がともに歩むまちづくり」や男女共同参画社会の形成に貢献されていると判断されるため、今年度の男女が歩むまちづくり推進モデルに推奨します。

④男女共同参画情報コーナー「めざそう！男女がともに歩むまち」
※人権政策課と男女共同参画推進室が毎月ごとに掲載

めざそう

男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す
福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。
〒市男女共同参画推進室 ☎43・8116

ケース「シヨ」をテーマに、ワーク
シヨップを行いました。
クロスロードはカードを使い
ます。カードには「あなたは主婦
です」「あなたは自治会長です」
などの条件が書いてあり、いつ
もの自分とは違う立場で、さま
ざまな場面を想定し、話を聞い
たり、意見を話したりしました。
その中で、相手を理解する前
に自分自身を知ることや相手を
コントロールすることはできな
いけれども理解しようとする姿
勢は必要だという「アサーティ
ブ・コミュニケーション」を体



▲軽快な話で受講者を魅了する天野さん

男女共同参画人材セミナーを開催しました

市は、性別に関わらず誰もがあらゆる場面において、個性と能力を発揮し、輝けるまちを目指しています。男女共同参画を推進する人材育成のセミナーを2月21日に開催しました。

講師に、株式会社イーリアス代表で観光開発、まちの総合計画に携わり、ファシリテーターとしても活躍している天野英樹さんを招き「クロスロードから学ぶアサーティブ・コミュニ

◀ 5月号

験を通して学びました。
受講者からは「コミュニケー
ションをとるときに、思い込み
があることに気付いた」「1年に
4回くらい実施してほしい」と
いう声が上がっていました。
天野さんは、話を聞くことは
本当に難しいと言います。考え
る速度は話す速度の4倍で、話
を聞いているうちに先に考えて
しまい、相手が話していないこ
とまで、勝手に予測して思い込
んでしまうそうです。相手の話
をしっかりと聞き、理解しようと
する姿勢が大切です。

めざそう

男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す
福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。
〒市男女共同参画推進室 ☎43・8116



▲昨年度の推進モデル、漆谷慎一さん

男女がともに歩むまちづくり推進モデルを募集します

男女共同参画社会とは、性別に関わらず、誰もがその個性と能力を十分に発揮できる社会のことです。その実現に向け、平成11年に男女共同参画基本法が公布、施行されました。

市は平成17年に「福津市男女がともに歩むまちづくり基本条例」を制定して「男女共同参画都市宣言」を行い、男女共同参画社会の実現に向けた施策を計画的

に進めてきました。その施策の一つとして、家庭や地域、職場、学校などで、男女がともに歩むまち（男女共同参画社会）づくりの推進を積極的に進めている個人、団体、事業者などを募集し「男女がともに歩むまちづくり推進モデル」として推奨しています。その中から選ばれた個人、団体、事業者は、12月に行う「人権講演会」の中で表彰します。

今年度も「男女がともに歩むまちづくり推進モデル」を募集します。自薦・他薦を問わず、身近で頑張っている個人や団体を紹介

してください。

例えば①性別で役割を決めずに、家庭や地域活動に積極的かつ継続的に参加している人②ともに歩むまちづくりを推進するための学習活動を続けているグループ、学校、クラブなど性別に関わりなく能力が発揮できる職場環境づくりに取り組んでいる事業所などです。8月23日（金）まで、電話またはファックスで受け付けています。

問い合わせ 市男女共同参画推進室 ☎43・8116、FAX 43・3168

7月号 ▶

めざそう 男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す
福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。

☎市男女共同参画推進室 ☎43・8116

◀ 9月号

今の世の中 男女平等じゃないの？

平成15年9月20日、県内で
3番目に宣言した男女共同参



▲男女共同参画都市宣言記念講演
会講師の富永明子さん

画都市宣言は、市が「ともに歩むまちづくり基本条例」の下、男女共同参画の視点に基づくまちづくりを進めていくことを、市内外に向けて宣言したものです。男女共同参画社会の実現に向けた取り組みは、今後より一層必要となります。

市では、毎年9月に男女共同参画都市宣言を記念して、講演会などの取り組みを行っています。

今年の男女共同参画都市宣言記念講演会では講師に、西日本短期大学保育学科長・教授でフェミニストカウンセラーでもある、富永明子さんを迎えます。演題は「今の世の中、男女平等じゃないの？」無自覚なジェンダー・バイアスに気づくために」です。

「男女共同参画」という言葉が生まれて20年余りがたちましたが、皆さんが日常生活を送る中で男女平等ではないと感じる場面はありませんか。「男は青、女はピンク」など、慣

れてしまっていて気付きにくい「ジェンダー・バイアス」は、さまざまところに存在しています。気付かないままに普段何気なく行っていることが、人を傷付けていることもあるかもしれません。

誰にとっても暮らしやすいこれからの時代をつくるために、富永さんの話を聞いて、一緒に考えてみませんか。

講演の日時や申込方法など、詳しくは21ページをご覧ください。また、市男女共同参画推進室までお問い合わせください。

めざそう 男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す
福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。

☎市男女共同参画推進室 ☎43・8116

ジェンダーギャップ指数の上位国と主な国の順位

順位	国名	スコア	備考
1	アイスランド	0.935	※ スコアは「1」に近いほど男女の格差がなく完全平等を意味します
2	フィンランド	0.875	
3	ノルウェー	0.875	
4	ニュージーランド	0.835	
5	スウェーデン	0.816	
43	アメリカ	0.747	
94	韓国	0.696	
106	中国	0.684	日本は118位
118	日本	0.663	

日本は118位

皆さんはジェンダーギャップ指数という言葉を知っていますか。ジェンダーギャップ指数とは、各国の男女平等に関する状況を数値化したものです。

このジェンダーギャップ指数は、スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が独自に算出したもので、経済、教育、健康、政治の4分野のデータから男女平等の度合いを測っています。

今年の日本の総合的順位は、

昨年の過去最低順位、125位から少し上がりましたが、146カ国中118位となっています。「教育」と「健康」の値は達成率で、いずれも高水準ですが「政治」「経済」の値が著しく低くなっています。ちなみに、順位の1位から3位までは、昨年同様北欧の国々になっています。

分野ごとに見てみると146カ国中、日本の政治分野は、昨年より25位上がり113位です。順位が上がったのは、昨年の内閣改造で女性大臣が5人入閣したためです。また、日本の経済分野は

昨年123位から120位と少しですが順位が上がりました。その他、健康分野は昨年59位から今年58位、教育分野は昨年47位から72位となりましたが、とりわけ経済分野と政治分野が低い順位となっています。

市では「男女がともに歩むまち」を目指して、身近な地域への女性の参画を呼び掛けています。地域で経験を積み、あらゆる場面で参画していく女性が増えていくよう、今後も「男女がともに歩むまちづくり」を推進していきます。

11月号 ▶

令和7年
1月号



めざそう 男女がともに 歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す
福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに
歩む」取り組みを紹介します。

☎市男女共同参画推進室 ☎43・8116

男女別に見た生活時間(週全体平均)



(令和5年度版内閣府男女共同参画白書)

す。その一方で、男性は職場での有償労働に多くの時間を費やし、家庭や地域での活動に参加する機会が少ないという現状もあります。このような状況を少しずつ変え、男女ともに働きやすく、家庭や地域での役割も分かち合えるような社会を目指すことが、ワークライフバランスの向上につながります。

最近、仕事と生活のバランス「ワークライフバランス」の重要性が注目されています。バランスを取ることは、特に家庭や地域での活動が多く、家事や育児などの無償労働に長い時間を割いている女性や、職場での有償労働時間が長い男性にとって、課題となっています。

例えば、多くの女性は仕事をしながらも家事や育児を担い、無償労働時間が長くなりがちで

みんなにとっての
ワークライフバランス
を考えよう

めざそう 男女がともに 歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す
福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに
歩む」取り組みを紹介します。

☎市男女共同参画推進室 ☎43・8116



ニッポンに「イクメン効果」を。

▲イクメンプロジェクト啓発ポスター

「産後パパ育休」は法律で定められ、制度の最大の特徴としては、生後8週間以内(合計最大4週間(28日間))の休業を取得できる点です。休業期間

「産後パパ育休」は、出産直後の家庭を支えるために男性が

育児休暇制度
「産後パパ育休」

取得できる新しい育児休暇制度で、男性の育児参加を後押しし、家族全員で子育てを楽しめる社会を目指して設けられたものです。正式名称は「出生児育児休業」といい令和4年10月1日からスタートしました。

は、分割して2回に分けて取得でき、仕事と育児を両立しながら、パートナーとともに大切な育児のスタートを支えるための制度です。

さらに、通常の育児休業とは異なり「産後パパ育休」の取得は、2週間前の申し出で取得でき、出産予定日に合わせて柔軟に育児が取得できます。また、育児中は会社を通じ雇用保険から「育児休業給付金」が支給され、一部条件によって変動はありますが、支給額は給与の67%となっており、家計の負担を軽減

する仕組みが整っています。父親がいることで、出産後の母体の体調をサポートして夫婦の信頼関係を深めることができたり、おむつ替えや寝かしつけなどの赤ちゃんの世話をする中で、育児のスキルも身に付いたりします。また、赤ちゃんに安心感を与え、親子の絆を深め、健やかな成長を促します。

「産後パパ育休」は、家族の生活をよりよい方向に変えるチャンスです。家族の時間を大切にする第1歩として、この制度を活用してみませんか。

令和7年
3月号

